**代々木病院の理念**

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 621　2019年 7月号
1部60円
友の会会員は会費に含まれています
発行　東京勤労者医療会代々木病院
院長　河邉　博正
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

# 代々木病院 訪問診療の活動

## 住み慣れた地域で自分らしく暮らしたい

**訪問診療とは**

訪問診療は、具合が悪くなったときだけ医師が診察に伺うものではありません。

通院が困難な患者さんのお宅に、日ごろから医師が定期的に診療に伺い、計画的に健康管理を行うものです。また、定期的な訪問に加え、緊急時には365日×24時間体制で対応、必要に応じて臨時往診や入院先の手配などを行います。

訪問診療の目的は病気の治療だけではありません。転倒や寝たきりの予防、肺炎や褥瘡などの予防、栄養状態の管理など、予測されるリスクを回避し、入院が必要な状態を未然に防ぐことも重要な役割です。

**「住み慣れた地域で自分らしく暮らしたい」を大切に**

代々木病院訪問診療では「住み慣れた地域で自分らしく暮らしたい」という思いを尊重し、そのために必要な医療的援助を行っています。

**近医に通院されていたAさんの事例を通して学んだこと**

近医へ通院されていたAさんは、急な胸の痛みを訴え、娘さんと大学病院を受診し、胸部の血管に問題が生じており治療は難しいこと、最期の時が近いことなど説明され自宅に戻られたところでした。通っていたクリニックでは訪問診療がないため、訪問看護ステーションから代々木病院へ紹介を受け、相談員がご自宅を訪問したところ、痛みで苦しんでおられ、食事もできない状態でした。近医からの紹介状もすぐに頂けましたので、その日のうちに訪問診療を開始しました。医師は痛みを取るため、麻薬の持続点滴が必要と判断し、すぐに麻薬の手配が出来る薬局と連携して治療を開始しました。同時にケアマネジャーさんとも連絡を取り福祉用具、介護サービスなどを相談、翌日には手配をほぼ整える事が出来ました。その後は麻薬が効き痛みも落ち着かれましたが、私たちも毎日のようにお伺いしてご家族と最期の時をゆっくり過ごされるお手伝いをし、お看取りをさせて頂きました。Aさんの事例は私たちにとっても大きな学びとなりました。

**状況の変化に応じて、その時々の思いや希望に寄り添うこと**

急な状況の変化に際した場合、迷われたり、判断が変わる事は当然のことと思います。私たち訪問診療では、その思いに寄り添うことができるよう、その都度、病状の説明を行い、話し合い、相談をしながら思いや希望の確認を取るように心がけています。

**在宅・病棟間での切れ目ない医療の継続を目指して**

また、入院できる病棟のある代々木病院では在宅・病棟間での切れ目ない医療の継続を目指しており、在宅では出来ない検査などを目的に一時的に入院して頂き、その間ご家族には休養を取って頂いたり、介護サービスの調整を行ったりなど、長期的な介護を続けるためのお手伝いも可能となっています。

**「一人暮らしでも自宅で暮らしたい」ターミナル、難病の患者さんも**

最近は、「一人ぐらしでも自宅で暮らしたい」と大学病院を退院される末期がんや難病の患者さんの紹介もあり、受け入れを行っています。

**気軽にご相談を**

体調が安定しなかったり、移動が大変で外来通院が難しくなってきた、と感じている方は主治医やケアマネジャー、または訪問診療へ直接ご相談ください。

**代々木病院 訪問診療**

訪問診療の体制については、６面にある「外来診療表」をご参照ください。

電話（直通）03―3404―7684

## 千駄の萱

また暑ーい夏がやってきました。温暖化の影響もあって東京の夏は特に蒸し暑く「災害級」と言う表現もよく目にするようになってきましたね。ピークの温度はさほど変わっていないのですが、平均気温と夜間気温が特に上がっています。当然「熱中症」の危険が増します。最近は真夏だけではなく10月辺りまで危険域に入っていますし、今年は4月から真夏日発生など身体に厳しい気候が続いていますのでくれぐれも気をつけて暑さを乗り切ってください。特に高齢の方は頑張ってしまう傾向がありますが、日本の気候は皆さんが若い頃とは違います。もはや亜熱帯並なので「昔はこのくらい」と思わずに空調をきちんと使いましょう。温暖化と言えばもう一つ。政府は、原発は温暖化対策の切り札などと言っていますが、日本の原発は沿岸部にあり、冷却に使用した海水を7度水温を上げた状態で海に戻しています。その総量は日本の河川の総流量4000億トンの4分の1に相当する1000億トン！海を加熱しています。運転停止中も冷却が必要な原発。やはり再開は止めねばなりません。（ひ）